

牧師所感： 病いの中に在って

去る9月4日、千葉県四街道徳洲会病院で緊急入院となって加療中、牧師と言う使命感が筆者を動かしました。入院15日目で教会の務めを果たして死ぬつもりで退院しました。明日は主日、礼拝をお捧げして使命を果たす所存です。今頭は回らなくて、所感は書けません。以下に詩篇92篇を転載して所感とします。諸賢の健康を祝し、祈ります！！

詩篇 92 篇

賛歌。歌。安息日に。

いかに楽しいことでしょう。主に感謝をささげることは
いと高き神よ、御名をほめ歌い 朝ごとに、あなたの慈しみを
夜ごとに、あなたのまことを述べ伝えることは
十弦の琴に合わせ、豎琴に合わせ 琴の調べに合わせて。

主よ、あなたは 御業を喜び祝わさせていただきます。

わたしは御手の業を喜び歌います。

主よ、御業はいかに大きく 御計らいはいかに深いことでしょう。

愚かな者はそれを知ることなく 無知な者はそれを悟ろうとしません。

神に逆らう者が野の草のように茂り 悪を行う者が皆、
花を咲かせるように見えても 永遠に滅ぼされてしまいます。

主よ、あなたこそ、永遠に高くいます方。

主よ、あなたに敵対する者は、必ず あなたに敵対する者は、必ず滅び
悪を行う者は皆、散らされて行きます。

あなたはわたしの角を野牛のように上げさせ

豊かな油を注ぎかけてくださることでしょう

わたしを陥れようとする者をこの目で見

悪人がわたしに逆らって立つのを この耳で聞いているときにも。

神に従う人はなつめやしのように茂り レバノンの杉のようにそびえます。

主の家に植えられ わたしたちの神の庭に茂ります。

白髪になってもなお実を結び 命に溢れ、いきいきとし 述べ伝えるでしょう

わたしの岩と頼む主は正しい方 御もとには不正がない、と。